

総合学習「BIWAKO TIME」の 学習効果検証

検証：総合学習の是非を問う

- 総合的な学習の時間は本当に必要なのか！？ -



- 目次 -

本校の研究と「BIWAKO TIME」の概要	2
「びわ湖学習」, 「BIWAKO TIME」のあゆみ	3
対談：卒業生 × 本校元教員 今、思う... あの日の「びわ湖学習」, 「BIWAKO TIME」	4
卒業生へのアンケート	8
在校生へのアンケート 20年前のデータとの比較	10
子どもと共に歩む「BIWAKO TIME」実践の様子	12
まとめ	15

本冊子の要旨

滋賀大学教育学部附属中学校では、子どもの自主性と創造力を伸ばしたいという願いから、昭和58(1983)年度に「びわ湖学習」をスタートしました。それ以来、少しずつ改善を重ねながら、現在「BIWAKO TIME」として22年間続けています。

しかし、総合的な学習は、その効果をすぐに検証しにくいいため、存在意義そのものが疑問視されています。そこで、その学習効果を検証するために、本校の在校生や卒業生への意識調査等を行いました。その結果、以下の3点について顕著な効果が認められました。

1. 郷土滋賀の再発見、再認識につながる。
2. 自分の考えを効果的に伝える。
3. 円滑な人間関係づくりに資する。

平成 17 (2005) 年度

滋賀大学教育学部附属中学校



過去の学習成果を保存している図書室

総合学習「BIWAKO TIME」の学習効果検証

検証：総合学習の是非を問う

- 総合的な学習の時間は本当に必要なのか！？ -

平成 18 (2006) 年 3 月 20 日 発行

著 者 滋賀大学教育学部附属中学校

印 刷 ハン六タイプ

発行者 滋賀大学教育学部附属中学校

千原 孝司 (学校長)

藤池 聡 (副校長)

井上 真澄, 上田 真也, 河野 卓也, 澤 香織

澤田 一彦, 塩見 光二, 白石 牧恵, 高田 和子

西 孝俊, 西村 淳子, 人見和宏, 舟橋 秀晃

保木 康宏, 松井弥寿雄, 水谷 哲郎, 森山 進

横井 義明

下線「BIWAKO TIME」部会担当

研究主任

「BIWAKO TIME」部会主任

〒520 - 0817 滋賀県大津市昭和町 1 0 番 3 号

TEL 077-527-5255 FAX 077-527-5261

<http://www.fc.shiga-u.ac.jp/home/>

本冊子の著作権は滋賀大学教育学部附属中学校が有します。

本冊子の全てまたは一部を無断で転載・複製することを禁止します。

本研究・調査は、平成 17 (2005) 年度・滋賀大学学内プロジェクト研究経費を受けて実施したものです。